

4月3日(水) 9:45~14:30

野外講座

桜の大阪城に行く

大河ドラマに何度となく出てきた大阪城、公園には3000本の桜があり大層見事だそうで、ならばお城を見がてら行ってみようということになりました。ご存じのように太閤秀吉が築き、その後徳川家が再建し、第二次大戦で焼失、昭和6年に市民の寄付で再建されました。石垣や大手門、多門櫓など古い建造物は全て徳川時代のもので、国の特別史跡で重文になっています。大阪城は、正式には大阪城天守閣で全体が歴史博物館です。8階が天守閣、7階は秀吉関係の展示、5階には夏の陣屏風があり、映像やミニチュアなどで説明されています。建物や展示を見学した後は、お花見を楽しみましょう。ランチはあのニューオオタニ大阪でビュッフェ形式でいただけます。※3/26(火)に申込みを締切させていただきます。お早めにお申し込みください。



参加費 会員 7,500円 ビジター 8,500円 (入城料・昼食代・保険料含む)

集合場所 9:40にJR大阪環状線内回り大阪城公園駅改札口集合

4月7日(日) 10:00~15:00

野外講座

橿原神宮特別参拝と宝物館見学

第一代天神神武天皇をお祀りする橿原神宮(奈良県橿原市)は畝傍山の麓に明治23年(1890)に創建された神社です。今回の講座では神職の先導のもと同神宮の特別参拝を行い、境内の歴史的建築を巡った後、宝物館で開催中の特別展「橿原神宮の奉納刀」を解説していただきながら見学します。さらに橿原神宮の歴史についても改めて長谷川先生からお話をいただきます。昼食は境内にあるカフェで柿の葉寿司など地元の料理をいただきます。



参加費 会員 7,500円 ビジター 8,500円 (特別参拝料・入館料・講義料・昼食代・保険料含む)

講師 長谷川 怜 皇學館大学文学部国史学科准教授

集合場所 10:00に橿原神宮第一鳥居前集合

貸室利用のご案内 ~文化交流の場・五十鈴塾~

五十鈴塾では、本格的な日本建築の中で作品展や発表会・撮影会・研修会などにお使いいただける「貸室」「貸棟」を行っています。詳しくはホームページをご覧ください。お気軽にお問合せください。

貸室 かしつ

使用棟	9:00~12:00	13:00~16:00	9:00~16:00
左王舎	6,000円	7,000円	10,000円~
右王舎	7,000円	8,000円	12,000円~

※消費税別



右王舎



左王舎

貸棟 かしと

使用棟	9:00~12:00	13:00~16:00	9:00~16:00
左王舎	16,000円	17,000円	21,000円~
右王舎	21,000円	23,000円	31,000円~

※消費税別

※机、椅子、音響設備、スクリーン、プロジェクターなど有料備品についてはお問合せください。
 ※お申込みは利用開始日の3ヶ月前から受付します。
 ※目的・内容によりご利用いただけません場合がございます。
 ※駐車場はございません。近隣の有料駐車場をご利用ください。



研修会



撮影会



展示会

受講のご案内

【お申込み】

- ★申込受付時間は9:00~17:00です。お一人様、何講座でも受講いただけます。
- ★原則として予約制ですが、当日でも定員に達していなければ受講できます。(事前にお問合せください)

【お申込み方法】

- ①五十鈴塾事務局の窓口 ②電話・FAX
- ③五十鈴塾ホームページ(インターネット)

【参加費】

- ★当日、受付にてお支払いください。
- ★現金または振込み(手数料は入金者負担)でお支払いください。

※「定員」の記載がない講座は定員20名です。
 ※各講座とも定員になり次第、受付を締め切らせていただきます。
 ※講座申込者が10名に満たない場合は中止させていただきます。
 ※講師の都合、その他により講座内容等、変更になる場合があります。
 ※お申込みの講座をキャンセルされる場合は、当塾のキャンセルポリシーに基づきキャンセル料が発生いたします。お申込みの際にご確認ください。

◆ 会員募集中 ◆

入会のご案内

ご入会いただくと、五十鈴塾の会員としてさまざまな特典を受けられます。

五十鈴塾会員
年会費 5,000円

賛助会員

個人会員年会費 1口 10,000円
法人会員年会費 10口~ 100,000円~



公益財団法人伊勢文化会議所 五十鈴塾事務局
〒516-0026 三重県伊勢市宇治浦田1丁目5番3号

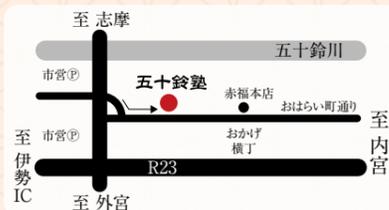
TEL 0596-20-8251 FAX 0596-20-8253

五十鈴塾 検索

五十鈴塾のホームページで講座内容の詳細や満席情報などをご覧ください。



五十鈴塾HP



五十鈴塾まで...
市営駐車場からは、地下道を通して出口から約120mです。

駐車場はございません。
近隣の有料駐車場が公共交通機関をご利用ください。



五十鈴塾 Instagram
@isuzujuku



五十鈴塾 Facebook
@isuzujuku



暮らっしゅく日本 五十鈴塾

講座のご案内
3月~5月
令和6(2024)年

五十鈴塾は日本の暮らしにある心地よさを体験し

「かけがえのないもの」を見つける
お手伝いをしたいと願っています。



神崎宣武塾長 特別講座 神崎 宣武 民俗学者・神崎研究室室長

5月14日(火) 18:30~20:00 オンライン同時中継

日本のしきたりの何故を知る③

「季節を読むとは」
~季節ごとの見舞いや遊山など歳時におけるしきたり~

冠・婚・葬・祭・礼・見舞い、それぞれにしきたりがあります。「冠」は誕生から始めて亡くなるまで、「婚」は婚約、結婚などへのお祝い、「葬」はお悔やみの方法、「祭」は行事とも密接につながって正月から師走、初詣からひな祭り、花見、七夕、秋まつりなどそれはそれは複雑、それが季節ともつながり、一年をメリハリのあるものにすると同時に人とかかわりや社会とかかわりを円滑に楽しいものにしていくと言っても過言ではないでしょうか。しきたりの何故を、季節を絡めながらお話いただきます。



参加費 会員 1,200円 ビジター 1,700円 定員 18名

5月15日(水) 13:30~15:00 オンライン同時中継

日本人の食文化 春編

いよいよ春の食になりました。ひな祭りにはちらし寿司に蛤のお吸い物、筍と和布ですね。そうそう草餅や白酒もお忘れなく。春分の食はぼた餅、お彼岸でもあるので精進料理も定番です。そして待ちに待ったお花見、巻きずしにお稲荷さん、鱈の焼き物に筍の煮物、お菓子は、もちろん桜餅。これは関西と関東では違うのです。端午の節句は粽と柏餅につきますね。お酒は菖蒲酒、これは美味しいものではないようです。こんな風に羅列しましたが、神崎先生の切り口は?



参加費 会員 1,200円 ビジター 1,700円 定員 18名

3月7日(木)・4月4日(木)・5月9日(木) 各回13:00～15:30

3回シリーズ体験講座

一閑張りの籠バッグ作りを楽しむ

一閑張りとは、竹や木の籠やざるに和紙を張り重ねて、そのうえに柿渋を塗り重ねてつくる日本の伝統工芸です。元々は農閑期に収穫用の籠を修復する技法です。柿渋を塗ることによって丈夫になり、防水防虫防腐効果があります。柿渋は時間とともにゆっくり発色してゆくので、時間が経過してゆくさまも楽しみのひとつです。今回は籠バックを3回シリーズで作ります。

1回目 和紙の下張り→乾燥
2回目 和紙上張り→乾燥
3回目 柿渋塗り→乾燥の工程です。一度体験してみませんか。
※材料準備の都合により、2/29に申込みを締め切りますのでお早目にお申込みください。

参加費 〔会員〕 **8,750円** 〔ビジター〕 **10,250円** (3回分の材料費含む)

講師 **町野 弥生** 弥生楽家・一閑張り作家

定員 15名限定

3月14日(木) 11:00～13:30

野外講座

蕎麦食べ比べ ～手打ちそばを楽しむ～

昨年大好評で、第2弾をとのご希望もあり企画しました。今回は柿右衛門さんのお店にお伺いをし、2種類の蕎麦の食べ比べを楽しみたいと思います。ひとつは国産の玄蕎麦を石臼で毎朝挽いたそば粉で打つ二八蕎麦、もう一つは連台寺柿の葉や伊勢芋を練りこんだ緑色が特徴の「もえぎ蕎麦」です。ふたつの蕎麦ののど越しや食感の違いを楽しみましょう。また様々な蕎麦の種類についてのお話もお伺いしましょう。
※材料準備の都合により、3/7に申込みを締め切りますのでお早めにお申込みください。

参加費 〔会員〕 **2,500円** 〔ビジター〕 **3,000円** (昼食代含む)

講師 **西村 哲平** 手打ち蕎麦柿右衛門店主

集合場所 10:55に「手打ち蕎麦柿右衛門」集合

3月15日(金) 13:30～15:00

企画講座

宇治の町を掘る

皇大神宮(内宮)の鳥居前町として発展してきた宇治おはらい町の歴史を検証するため、伊勢市史および皇學館大学考古学研究会が、学術発掘調査をした慶光院家敷地(同家菩提寺「常慶院跡」)・百五銀行内宮前支店敷地(内宮権禰宣・御師の「中川新神主邸跡」)・株式会社湊敷地(江戸時代宇治の自治行政を担った宇治会合所跡)の調査をしました。その成果について出土遺物の一部を紹介していただきながら、宇治の町の成り立ちについて岡田先生にお伺いします。

参加費 〔会員〕 **900円** 〔ビジター〕 **1,400円**

講師 **岡田 登** 皇學館大学名誉教授

3月15日(金) 13:30～15:00

企画講座

桜のフラワーアレンジメント

今回、春のお花「桜」を使って手軽に飾りやすいフラワーアレンジメントをつくります。山口先生は、国家資格であるフラワー装飾技能士の1級をもち、数々の全国大会にも代表出場している実力派。先生からお花を挿す順番や配置など、アレンジメントのコツを教わりながらつくっていきます。フラワーアレンジメントですので、つくったそのままをお家に持って帰っていただけます。かわいく作って、一足先にお部屋でお花見といきましょう!
※花切り鉢、タオルなどをお持ちください。
※材料準備の都合により3/10に申込みを締め切りますので、お早目にお申込みください。

参加費 〔会員〕 **3,400円** 〔ビジター〕 **3,900円** (花材費含む)

講師 **山口 欣之** 奉花園・フラワー装飾1級技能士

3月19日(火) 13:30～15:00

企画講座

聖地巡礼 ～京都の神社⑥ 源平の社～

今回は源氏と平家ゆかりの神社のお話です。南区にある六孫王神社は平安時代に清和源氏の祖といわれる源経基が建立した神社です。祭神の六孫王大神が鯉に助けられたことから境内にある神龍池のかかる橋を渡ると「恋(鯉)が叶う」と言われています。若一神社は平清盛の別邸西八条に建てられたと言われています。清盛の夢枕に、熊野権現の御神体が庭に埋まっているから掘り出して祀るようにとのお告げがあり、探したところ発見されたので社を建てて奉斎したと伝わっています。しかし西山先生は「言われていますが…」と意味深なことを言っていっちゃいます。さてどんな謎が?それは聞いてのお楽しみにしてください。

参加費 〔会員〕 **1,200円** 〔ビジター〕 **1,700円**

講師 **西山 克** 京都教育大学名誉教授

3月20日(水・祝) 10:00～14:00

野外講座

「伊勢国司北畠氏の歴史」～霧山城に登る～

古文書を読み解きながら九代に渡り、南伊勢を支配した北畠氏の歴史をひも解いてきた講座の仕上げとして、初代国司の北畠顕能が築いた霧山城に登ります。津市美杉町にある山上に築かれた天然の要塞で240年間山城として北畠氏を支え続けてきましたが、天正4年信長の軍勢により落城、北畠の歴史が閉じました。現在登山道が整備され、2.2キロの山道を1時間半ほどで登ることができます。麓の北畠神社の裏から登り、城跡跡を経て、頂上に至ります。昼食後は北畠神社・庭園も見学解散します。
※3/13に申込みを締め切りますのでお早めにお申込みください。

参加費 〔会員〕 **5,000円** 〔ビジター〕 **5,500円** (入園料・昼食代・保険料含む)

講師 **岡野 友彦** 皇學館大学文学部長

集合場所 10:00に「北畠神社(津市美杉町上多気)」集合

3月22日(金) 13:30～15:00

サロン講座

「歌劇あれこれ」～プギウギの後輩が語る～

あつという間に恋に落ち、赤ちゃん誕生と急展開の朝ドラの主人公の原点は大阪にあった松竹楽劇部。時代と共に名称が変わって昭和18年にOSK日本歌劇団となりました。五十鈴塾の東雲あきらさんはこのOSKの男役トップスターだった人、すし久の女将友美愛さんはその相手役、ともにOSKの一時代を築きました。知らなかったでしょう?ちなみにお二人ともに芸名です。歌劇団の練習はドラマのように厳しかったそうです。一般には想像がつかない歌劇団の内側や舞台上でのお話などをお二人に伺います。

参加費 〔会員〕 **800円** 〔ビジター〕 **1,300円**

話し手 **東雲あきら・友美愛** OSK日本歌劇団卒業生

3月26日(火) 13:30～15:30

企画講座

「身体の声を聴こう」～股関節の機能を向上させよう～

股関節とは足と身体を繋ぐとても大事な関節です。座る・立つ・歩くなど全ての動作で一番重要な役割をもつ関節です。股関節がしっかりと動くことが出来れば気持ちよく動くことができ、しなやかに軽い身体に近づくことができます!レッスンの中で健康な身体、良い姿勢、良い動きとは何か。一緒に考えてみませんか?まずは身体の状態を理解して、ひとりひとりに合った良い動きをレッスンの中で探してみましよう。(ご要望があれば個別にアドバイスを受けられます)
※バスタオル2枚お持ちください。床に仰向け、横向きに寝て行なうレッスンを含みます。

参加費 〔会員〕 **1,000円** 〔ビジター〕 **1,500円**

講師 **欠塚 優希** フェニックス健診クリニック作業療法士・コンディショニングトレーナー

3月29日(金) 11:30～15:00

企画講座

煎茶講座 ～桜と香煎茶～

五十鈴川の桜を楽しみながら花見膳を食し、桜香煎茶を楽しむ桜尽くしの一刻です。浦田の駐車場そばの野遊び棚は2階から桜を見下ろすことができる絶景スポットです。ここで特製の花見膳をいただき、その後塾に帰り、桜にちなんだお煎茶の会を持ちます。まず桜香煎茶を一服いただいて、藤原先生から知ってるようで知らない桜についてのお話を。そして焙じ茶お点前を拝見して味わいます。(せっかくですから春の一日おめかしてお出かけになりませんか?)

参加費 〔会員〕 **4,200円** 〔ビジター〕 **4,700円** (昼食代・お菓子代含む)

講師 **藤原 和美** 皇風煎茶禮式師範 ・ **杉山 理** 皇風煎茶禮式準給師範

4月11日(木) 13:30～15:00

企画講座

日本の伝統工芸 漆新たな世界 ～漆の一滴は血の一滴～

自分の手で一からものづくりをしたい一心でスポーツメーカーを退職した大内先生。美術の勉強をする中で日本の伝統工芸である漆の魅力に惹かれ、香川県漆芸研究所で蒔繪・存清・彫漆の三技法を学び三重県に移住、神職が履く浅沓の製造技術も習得されました。ワルシンの木の樹液は、縄文時代から塗料や接着剤に使用され、日本の生活には欠かせないものだと確信した大内先生。今回は漆の魅力を伝えるため、様々な素材を取り入れた新しい見せ方へのこだわりや作品を通してあなたを漆の世界へと誘います。

参加費 〔会員〕 **900円** 〔ビジター〕 **1,400円**

講師 **大内 麻沙子** 漆作家・工芸グループ「常若」「凜九」メンバー

4月15日(月) 18:30～20:30

企画講座

「残花香」を楽しむ

「夏山の青葉まじりのおそ桜 初花よりもめづらしきかな」 藤原盛房
(夏になって山は新緑に染まっているが、その青葉にまじって、遅咲きの山桜がまだ白い花をつけている。咲きはじめの桜よりも風情のあることだよ)
お楽しみの香組は、夏山(真南蛮)・青葉(佐首羅)・おそ桜(伽羅)、それぞれとてもいい香りで、身体にもいいのです。
いろいろな香りを優雅に聞き分けて、青葉若葉が晴れやかに翻る中、おそ桜がちらほら見える風情を香りで楽しみましょう。

参加費 〔会員〕 **5,400円** 〔ビジター〕 **5,900円** (香庭料・食事代・お菓子代含む)

講師 **東 堯霞** 香道御家流三條西宗家直門師範

4月16日(火) 13:30～15:00

企画講座

熊野尾鷲で起きた世界最大規模の火山噴火

熊野地方に火山爆発があったって話、聞いたことあります?実はおよそ1500万年前から1400万年前、プレートの移動が原因で紀伊半島の地下に大量のマグマが発生し、複数個所で一気に噴出をしていわゆる「熊野カルデラ火山爆発」を引き起こしたのです。噴出した火山灰やマグマが冷え固まって熊野地方特有の奇岩が出来上がったのですが、雨の多いこの地方では、カルデラ地形が浸食され続けその名残は少ないのです。では獅子岩、鬼ヶ城、楯ヶ崎などの奇岩は長い年月が作りあげたマグマの痕跡なのでしょうか? 森先生に熊野地方の壮大な物語をお伺いします。

参加費 〔会員〕 **1,000円** 〔ビジター〕 **1,500円**

講師 **森 勇一** 三重県環境影響評価委員・東海シニア自然大学講師

4月17日(水) 11:00～14:00

野外講座

こんにくく作りとクレソン鍋を味わう

11月に地域活性化の取り組みについてお話いただいた北川さん、「今回はこんにくくを作りに来て」とのお言葉に甘えて伺うことにしました。まずはこんにくく芋からつくるこんにくく作りを体験します。その後は波瀬地区特産のクレソンと相性のいい豚肉を使った「クレソン鍋」などのアイデアメニューや、旬の野菜を使った料理を堪能しましょう。クレソンにはβカロテン、カリウム、ビタミンA、ビタミンCなどの栄養が豊富。風味を生かした料理で春の訪れを楽しみましょう。
※材料準備の都合により、4/9に申込みを締め切りますのでお早めにお申込みください。

参加費 〔会員〕 **4,200円** 〔ビジター〕 **4,700円** (昼食代・体験料含む)

講師 **北川 京子** 波瀬街づくり協議会生産部長

集合場所 10:55に「はぜの風」集合(飯高町)

4月22日(月) 13:30～15:00

企画講座

「おかげまいの衣・食・住」～江戸時代の伊勢参りブーム～

それは約60年に1度の周期で繰り返されたという、爆発的なお伊勢参りそれを「おかげ参り」といいます。特に1830年(文政13年)の時には、当時人口の5分の1もの人々が伊勢へ伊勢へと来たといわれています。その中で人々は何を着て、何を食べて、どこで寝泊まりして伊勢にやってきたのでしょうか。病気でお参りに行きたくてもいけな主人の代わりとして頼まれた犬も来ていました。柄杓をはじめとする伊勢参宮の習俗とともに、当時の伊勢参宮の具体的な様子にせまります。

参加費 〔会員〕 **950円** 〔ビジター〕 **1,450円**

講師 **太田 光俊** 三重県総合博物館学芸員・博士(文学)

4月23日(火) 18:30～20:30

企画講座

春の星見と恒星・惑星の世界

この時期、冬の星は西に傾き春の星が東にのぼっています。夜空には1等星クラスの恒星がたくさんあり、なかなか見ごたえがあります。肉眼でもいくつかの恒星は色が感じられ、望遠鏡を使うとその色をよりはっきりと見られます。恒星が色づいて見える仕組みや、エネルギーを生み出すメカニズムなどをお話します。さらに太陽以外の恒星の周りを回る惑星が多数発見されています。その系外惑星についてもご紹介します。

参加費 〔会員〕 **1,200円** 〔ビジター〕 **1,700円**

講師 **持田 大作** 名古屋市科学館学芸員・博士(文学)

4月26日(金) 13:30～15:00

企画講座

「延喜祝詞式」について② ～出雲国造神賀詞～

延喜式巻8の「祝詞式」の講座の二回目は出雲国造神賀詞について解説します。「いずもくにのみやつこかもよごと」と読みます。この祝詞は、先代から受け継いだ新任の出雲国造が朝廷に参向して奏聞する御世寿ぎのことばです。他の祝詞と比べるとかなり特殊な用語を使っていることがわかります。出雲の首長である国造の祖先神は天穂日命(あめのほひのみこと)です。『古事記』や『日本書紀』によると、天照大御神の御子神に豊葦原瑞穗国をお譲りするよう大国主命に交渉する役目を高天原で仰せつかり、三年間復命の義務を果たさなかったと記録されていますが、この神賀詞では見事に国土を平定された英雄として描かれています。この違いは何なのでしょうか。「天のみかひ冠りて」「白玉の大御白髪坐し」「青玉の水江の玉の行き相ひに」などの真意も深く考察し、祝詞に隠された中央政治への実に嫌みなない回しがあることを読み解きたいと思います。

参加費 〔会員〕 **900円** 〔ビジター〕 **1,400円**

講師 **音羽 悟** 神宮司庁広報室次長

5月17日(金) 13:30～15:00

企画講座

月次祭の御馳走

6月15日から25日までは神宮の大切なお祭りの月次祭、30品目に及ぶ特別なお食事を整えて神様に捧げます。これを由貴大御饌といいます。由貴とはこの上もなく貴いこと。2日間にわたって調理をされた神饌を朝と夕の2回お供えします。魚介類、御餅、御飯、塩、水、お酒、海藻、野菜類、野鳥、果物などなど。それらの神饌は御料といわれ、それぞれに一口では言えないほどの手間暇をかけて特別に用意されたものです。なぜこれほどの手間をかけるのか、お供えする意味はなんなのか?またお供えの式次第は?日本人の神様への思いを物語る月次祭の大御饌についてじっくりと伺います。

参加費 〔会員〕 **900円** 〔ビジター〕 **1,400円**

講師 **千種 清美** 文筆家・皇學館大学非常勤講師

5月20日(月) 13:30～15:00

企画講座

お寺と仏像を知ろう ～唐招提寺②～

前回は唐招提寺の歴史や建物、鑑真和上についてのお話が大部分でしたが、今回は仏像についてになるうかと思われます。一言でいいますと国宝だらけ、さすがといえはさすがですがそれがほとんど金堂の中にいらっやいます。まず盧舍那仏坐像は3mで奈良時代のもので国宝、背後の光背の化仏だけで862体です。ついで薬師如来立像3.36m国宝で平安時代の作、千手観音菩薩立像は5.36m奈良時代の国宝で背後の手は1000本、その他にも国宝・重文のオンパレード。それぞれについてのお話をぜひ聞きたいですよ。

参加費 〔会員〕 **950円** 〔ビジター〕 **1,450円**

講師 **瀧川 和也** 三重県総合博物館調査・資料情報課課長(学芸員)

5月27日(月) 18:30～20:00

企画講座

日本の神話⑦ ～古事記を中心として～

講座が1回ずれましたので、今回は第7回目です。葦原中国を平定した天照大御神はこの国を治めるために孫の瓊瓊杵尊を遣わされました。いわゆる天孫降臨です。御案内役は言わずと知れた猿田毘古神、降り立たれたところは高千穂の峰(今の宮崎県)ここから日向三代の神々のお話になります。火遠理命、鶺鴒草不合命と物語は進みます。その間に天宇受賣命、木花佐久夜毘売などおなじみの方々も登場です。今までとくらべるとなんとなく人間味がでてくる神々、楽しみにしてください。

参加費 〔会員〕 **900円** 〔ビジター〕 **1,400円**

講師 **山中 一孝** 豆腐庵山中代表取締役

3月27日(水)・4月24日(水)・5月22日(水) 10:00～12:00

企画講座

楽しい俳句

わずかに7文字に色々なことを詠みこむ俳句。筆記用具があればいつでもどこでも楽しめる手軽な趣味。難しいことをいえば貴族社会で楽しまれていた連歌から始まり、俳諧となり、芭蕉が芸術にまで高めた究極の短詩です。これを生み出したのが日本人であることは世界に誇るべきことです。日本語のリズムは知らず知らずになんべ五五になっているといわれています。つまり誰もが俳句を作る下地を持っているのです。いまや世界の人々が作る俳句、一度ぜひ作ってみてください。石井先生が分かり易くノウハウを教えてください。

参加費 (各回) 〔会員〕 **1,600円** 〔ビジター〕 **2,100円**

講師 **石井 いさお** 煌星俳句会主宰